

「音楽のまち やはば」宣言セレモニー
SINCE 2016



やはば 議会だより



町民と町議会との懇談会 やはば一く
求む!! 見える議会活動 2

一般質問 町政を問う
本町の産業振興の考えは 一般質問10議員 9

常任委員会 視察研修報告 20

199
2017.1.16
岩手県
矢巾町議会

音楽のまち宣言
(関連記事…P24)

議 会 活 動

11月19日（土）やはばーくの1階で懇談会が行われ、39名の方に参加いただきました。議会の活動や町政について、広い分野にわたって意見が出されました。

政策を見える形に

質問 会派や議会が町に要望した内容を全町民に見える形にして頂きたい。例えば、通学路の歩道確保や図書館運営の取り組みなどを。

回答 今後、会派広報紙の発行、委員会の内容も見えるように努めたい。

心のバリアフリー

質問 矢巾町はバリアフリー化が進んでいるが、心のバリアフリーについて、障がい者に対する理解が心配である。その点については大丈夫か。

回答 支援学校や療育センターも矢巾町に来るので、今以上に心のバリアフリーに力を入れていきます。

きめ細かい開催を

質問 今回の懇談会会場について、ざわめく所で配慮がないのでは。開催時間は適切と思うが、多くの会場での細かい開催を望みます。

回答 やはばーくでの開催は、多くの人に知ってもらえるように試行的に設定してみた。開催回数については、昨年から年に3回開催し、旧村地域3カ所を2回、中央で1回行いこまめに開催している。

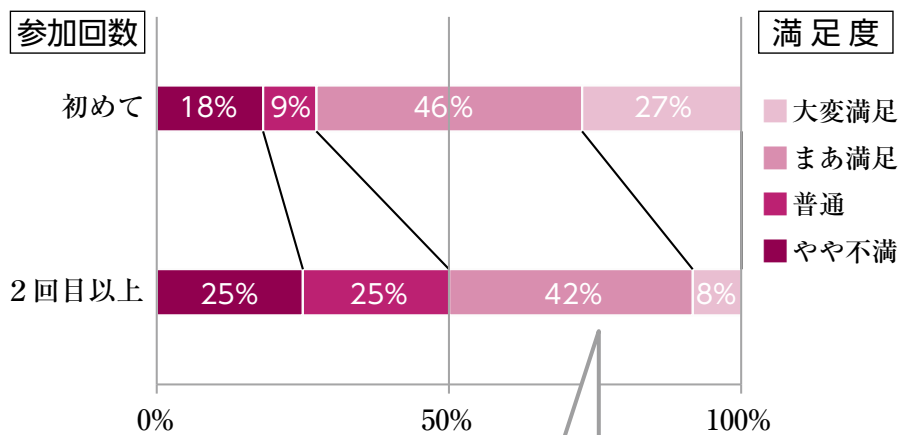
タブレットの導入を

質問 スマートフォンやタブレット端末を利用して提案や答弁に活用して頂きたい。

回答 現在、導入に向けて検討中である。

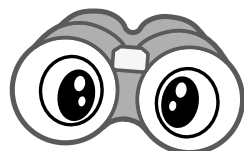


アンケート結果から見える課題～懇談会の満足度は？～



「やや不満」は初参加の方が18%、リピーターは25%となり、「大変満足」は初参加の方が27%、リピーターは8%でした。何回来ても飽きない、話しやすい懇談会を目指し、精進、精進!!

町民と町議会との懇談会 やはばーく



求む!! 見える

議会活動日数は

質問 議会活動日数は200日以上となっているのか。

回答 27年度は活動日数130日、本会議等は重複もあるため205回開催された。

高齢者支援を重視

質問 開発一辺倒では、予算がかかりすぎる。高齢者支援に予算を向けるべき。

回答 公共工事の実施は議会にも責任がある。高齢者支援にもしっかりと取り組んでいく。

道の駅構想の前進を

質問 矢巾町には産業の活性化が必要である。道の駅構想をぜひ進めて頂きたい。

回答 西側はウエストヒルズ広宮沢、東側は下田工業団地を中心に企業誘致を進めているが、観光関連の産業がない。史跡徳丹城跡、スマートICを考慮しつつ、西も東も活性化したい。

安全安心なまちを

質問 街灯の設置や道路の段差解消のための要望書を町に出している。住み良い町づくりに努めて頂きたい。

回答 要望書は議会にも提出して頂きたい。また議員の誰でも構わないので、要望を伝えてほしい。

政務活動費の公開は

質問 政務活動費の使用報告を町民にホームページで公開することも必要では。

回答 現在町のホームページで利用状況を公開している。

積極的な企業誘致を

質問 前町長の時は積極的に企業誘致をしていたが、西部地区や不動産開発を今後どのように考えているか。

回答 土地利用の課題がある。議会でも特別委員会で検討している。



やはばーくで行った懇談会では活発な意見が出された

アンケートで出された主な感想

- 一問一答方式ではなく、町民の声をもっと聞いて分野ごとに答えた方がいい。懇談会は議員を何班かに分けて、自治公民館でこまやかに聞いてほしい。今回に限らず、使用料負担、税金負担などについては、議会より町民に先に説明すべきであると思う。(60代女性)
- 今後はテーマを絞り込んでの懇談会も必要では。(70代男性)
- 政務活動費を特に広報活動など、使い勝手の良いものにしてもらいたい。(70代男性)
- 意見交換、提供の場として大変良かったと思います。(50代男性)
- 様々な意見が出ており、大変良かった。(10代男性)
- 懇談会に若い人がたくさん来てもらいたい。(70代女性)

地方創生事業の推進を

平成 28 年定例会 12 月会議では、補正予算の審議等を行いました。

「地方創生事業は関係機関との意見交換など連携を図り、町が一体となった事業推進を」との附帯決議を付して可決しました。

議会で決めたこと

補正予算

補正予算は一般会計、3 特別会計、2 企業会計について計上され、予算決算常任委員会で審議しました。

一般会計は 5 億 5 809 万円を追加し、総額は 10 億 6 370 万円となりました。

主な内容は以下の通りです。

主な歳入

▽固定資産税

5 898 万円

▽土地売却収入

3 401 万円

▽農地中間管理事業機構集積

協力金返還金
50 万円

主な歳出

▼保育委託事業

9 201 万円

▼臨時福祉給付金

5 923 万円

▼ふるさと基金積立金

3 000 万円

▼地方創生事業委託料

2 000 万円

土地売却収入の内訳は

質問 土地売却収入の内訳と残っている土地の詳細は。

回答 駅西地区 4 区画と駅前地区の町有地の売却分である。残っている土地は駅前・駅西地区に約 3 000 平方メートルの土地が売却可能である。

返還金の理由は

質問 農地中間管理機構への返還が生じた理由は。

回答 一度出された離農申請が取り消されたためである。

大型農機購入の支援は

質問 農業の担い手確保・経営強化支援事業の詳細は。

回答 大豆刈り取り用の汎用コンバイン購入に半額補助したものである。

地域おこし隊の内容は

質問 地域おこし協力隊の事業内容の予定は。

回答 ウエルネスタウン構想に関連する業務を行う「まちづくり会社」の事業に直接関わっていたと予定である。



12月に行われた地方創生講演会(やはば一く)

地方創生委託の成果は

質問 地方創生事業の委託で、望む成果は。

回答 ネット上に仮想やはば商店街を作り、イメージアツプを期待している。委託事業では現在ネット販売等を行っていない事業者に対してのセミナーを行っていく。ウエルネスタウン構想については 12 月 18 日に報告会を兼ねたイベントを行い、方向性を示す。

臨時福祉給付金の周知

質問 臨時福祉給付金の周知に、民生委員にも協力してもらっているかどうか。

回答 誰が対象になるかについては民生委員にもお知らせできない。

給付金の内容を民生委員にお知らせし、対象者から問い合わせがあった際には担当課までご連絡いただくよう、協力を依頼する。

働きやすい



職場環境を整備

12月会議では、介護や育児休暇などの条例の一部改正等が審議されました。

条例

職員の給与に関する条例

人事院勧告に基づき、条例を一部改正します。

町長等の特別職については、期末手当を引き上げます。

一般の職員については、期末手当の引き上げのほか、配偶者の扶養手当の減額、子の扶養手当の段階的な引き上げが行われます。

育児休業等に関する条例

働きながら育児がしやすい環境整備のため、非常勤職員の育児休業の取得期間が1年6カ月に延長されるほか、育児休業の対象となる子の範囲が拡大されます。

職員の休暇に関する条例

介護休暇の取得可能期間が3回まで分割可能となります。

また、1日につき2時間まで介護時間を取ることができるようになります。

休暇取得実績は

質問 育児休暇・介護休暇の取得実績は。

回答 育児休暇は過去5年間で平均3〜4人が取得した。介護休暇の取得実績はない。

地域密着型サービスの運営に関する条例

介護保険法の改正で、小規模な通所介護事業所が地域密着型サービスに位置付けられました。

これにより、県から事業所のある市町村に指導権限等が移行されました。

利用状況は

質問 町内の該当施設数と利用状況は。

回答 町内には4カ所あり、いずれもほぼ定員を満たしている。

発議案

議員報酬に関する条例

人事院勧告により、特別職と同様議員の期末手当を引き上げます。



町内の地域密着型事業所の利用者

みなさんからの請願

▽農協改革・指定生乳生産者団体制度維持に関する請願
請願者
岩手中央農業協同組合
代表理事組合長 久慈 宗悦
紹介議員

藤原 由巳

採択

審査意見

農協改革は、真に農業者の立場に立って進められるべきものである。

指定生乳生産者団体制度及び生産者補給金は、需要に応じた合理的な集送乳を通じて、酪農経営の安定と所得増大をはかる仕組みである。

特にも、中山間地域等の条件不利地で経営を行っている酪農家にとっては極めて重要な制度であることから、本請願の主旨は理解できるものである。

議会で決めたこと

上下水道料金の改定を可決

平成28年11月会議では水道事業給水条例及び公共下水道条例の一部改正についての審議が行われ、反対討論・賛成討論を経て賛成多数で可決されました。

なぜ変わる？

上水道は、創設から50年以上が経過し、多くの施設が老朽化しています。老朽化した管が破裂して水道の供給が滞らないよう、更新整備費に充てるための改定です。

下水道は、現行の使用料で独立しての経営が困難な状態です。安定した財政基盤を構築し、汚水処理施設の整備と維持管理を今後も効率的に行うための改定です。

いつ変わる？

平成29年4月請求分から変更になります。

いくら変わる？

上下水道を合わせた改定額の目安は表の通りです。
また、新たに給水装置を設置する時にかかる分担金についても改定が行われます。

生活用、口径 20mm での改定額の目安 (税込)

使用水量	現在 (家庭用)	改定後 (生活用)	値上げ額
10㎡の場合	3,434円	3,871円	437円/月
20㎡の場合	6,814円	7,392円	578円/月
30㎡の場合	1万254円	1万1010円	756円/月

金額は水道・下水道を合わせた額の計算です。

周知の方法は

質問 使用者への周知はどのように行うのか。

回答 事業者へは11月末か12月、住民への周知は12月に説明会を予定している。

減免措置を

質問 生活困窮者へ減免措置を講ずるべきでは。

回答 支払いが困難な場合は分割納付の相談などに対応している。

関連した値上げは

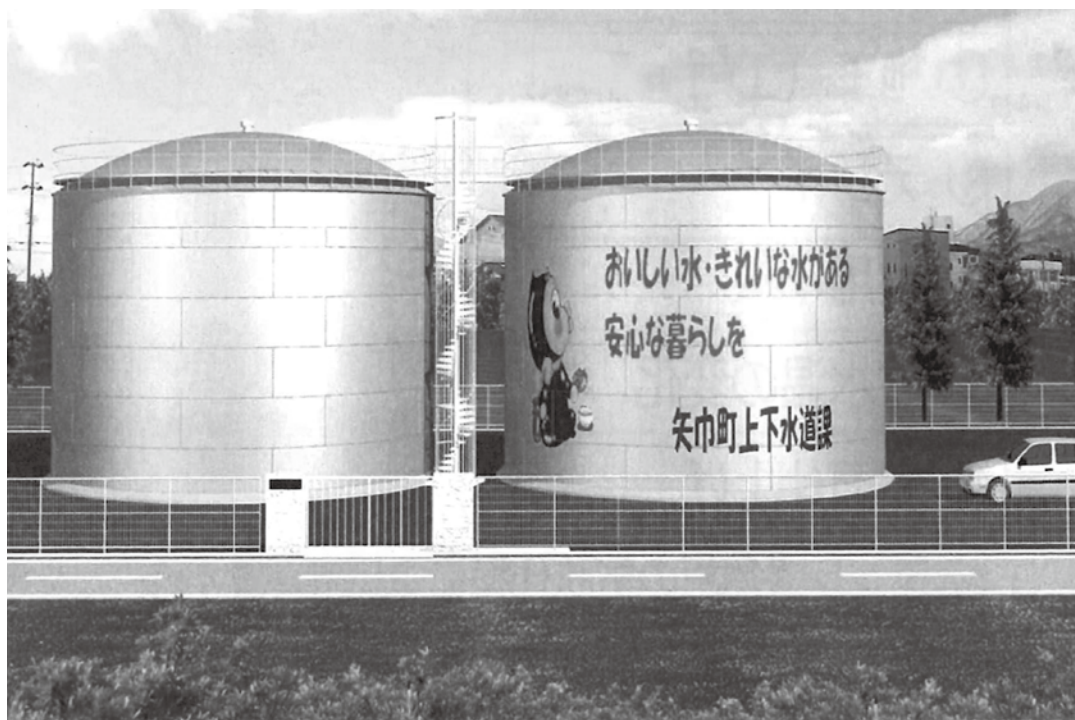
質問 上下水道料の値上げにより、保養センターなど他の施設への影響はないのか。

回答 他の施設利用料などが関連して値上げするということはない。

町内企業への影響は

質問 町内の経済活動にも影響があると考えるがどうか。

回答 使用者への説明を丁寧に行い、関係各課とも連絡を取り合いながら事業者のサポートに努めていく。



新設される配水場のイメージ図(矢巾東北側)

企業努力をすべし 一般会計繰り入れを

値上げ額などの具体的な住民説明が事前にされておらず、合意が得られていない。水道かわら版では、東日本大震災による水道管被害状況を他市町の例を使って説明するなど、正確な情報を開示していない。

値上げの前に企業努力をすべきであり、平成34年に赤字を生じるといふ説明は到底納得できないため反対する。

小川 文字

川村 よし子

討論

上下水道料金改定

安全安心な施策

全国的にも社会資本の老朽化が大きな問題であり、町では現在水道施設の約31%が耐用年数を超過している。

町は戦略的な管路更新計画を立てており、将来にわたる安全安心な水の対価として、住民の理解が得られる値上げ幅であると考えることから賛成する。

山崎 道夫

事業安定の推進を

下水道事業はサービスの提供に必要な施設等の老朽化に伴う下水道管の維持・整備事業などの健全化に取り組んでいる。経営環境が厳しさを増す中、サービスの提供を安定的に継続できるよう、中長期的な視点に立った経営を行うことが必要。公営企業は独立採算制が基本原則であり、安定的事業推進のため賛成する。

村松 信一

なぜ補助金活用した木を伐採

10月会議では、1652万円の凍結防止散布車購入のほか、町営キャンプ場の松くい虫防止のため樹幹注入されたアカマツ伐採に伴う補助金返還金について議論されました。

補正予算

補正予算は、一般会計で5660万円を追加し、総額は100億561万円となりました。

主な歳出

▽岩手県森林整備加速化・林業再生基金事業補助金返還金 130万円

伐採に伴う補助金返還

質問 補助金返還の件では各担当課が責任のなすり合いをしているのでは。

回答 事務に遺漏があったのは事実であり、責任の所在は明確にしていく。

再発防止策は

質問 今回の事案に対する町長以下関係職員の処分内容と再発防止策は。



誤って伐採された町営キャンプ場の樹木

指定管理者への調査は

質問 指定管理者への調査・処分は検討したのか。

回答 再発防止について職員と同様、指定管理者に対しても取り組んでいく。指定先については変更の予定はない。

回答 処分の内容は慎重を期し、総合的に判断したうえで、近いうちに示したい。

再発防止策として、これまで職員研修などにあまり力を入れていなかったことも要因と考えている。意識徹底を行えるよう、組織として注力して案を示したい。

各議案の採決状況

平成28年定例会10月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果					
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清実	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川和男	川村よし子	小川 文子		藤原 由巳	藤原 義一	米倉 清志	廣田 光男	
議案70号	財産の取得に関し議決を求めること…凍結防止剤散布車の購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案71号	一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出予算に約5660万円を増額し、総額を約100億561万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可

平成28年定例会11月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果						
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清実	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川和男	川村よし子	小川 文子		藤原 由巳	藤原 義一	米倉 清志	廣田 光男		
議案72号	水道事業給水条例の一部改正…水道料金と受益者分担金の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-	可	
議案73号	公共下水道条例の一部改正…下水道使用料の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-	可

平成28年定例会12月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果					
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清実	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川和男	川村よし子	小川 文子		藤原 由巳	藤原 義一	米倉 清志	廣田 光男	
議案74号	災害甲慰金等支給審査会の委員の任命と運営に関する事務の委託を廃止する協議…震災から5年が経過し、災害甲慰金等支給の審査会の運営事務を県に委託していたものを廃止する協議のため議決を必要とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案75号	税条例の一部改正…所得税法、国民健康保険税に関する変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案76号	特別職の給与及び旅費等に関する条例の一部改正…特別職の期末手当の支給月数を1.65カ月分から1.75カ月に0.1カ月分引き上げ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案77号	一般職の給与に関する条例の一部改正…役場一般職の給与に関して、下記の点を改正 ①給料表を平均0.2%引き上げ ②勤勉手当の支給月数を0.1カ月分引き上げ ③配偶者の扶養手当を1万3000円/月から6,500円/月に減額 ④子に係る扶養手当を6,500円から1万円まで段階的に引き上げ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案78号	指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する条例の一部改正…小規模な通所介護事業所について、指定及び指導権限が市町村に移行されることに伴う改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案79号	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正…教育委員会局における個人番号の利用範囲を条例で定めていたものが、法律で定められるようになったため、条例の規定を削除	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案80号	一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出予算に約5億5809万円を追加し、総額約105億6370万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案81号	介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 科目の組み替えのため、予算総額には変更なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案82号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算に約40万円を追加し、予算総額を約1億7310万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案83号	矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算に約3810万円を追加し、予算総額約7億3331万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案84号	水道事業会計補正予算（第2号） ①収益的収入を約30万円減額して、総額を約6億8480万円とする ②収益的支出を約1386万円増額して、総額を約5億5587万円とする ③資本的支出を約254万円増額して、総額を約6億6631万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案85号	下水道事業会計補正予算（第2号） ①収益的支出を約21万円増額して、総額を約6億7083万円とする ②資本的支出を約39万円減額して、総額を約11億5812万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案86号	職員の育児休業に関する条例、休日・休暇取得に関する条例の一部改正…働きながら育児や介護がしやすい環境整備を進めるための改正。非常勤職員の育児休業取得期間の延長、育児休業等の対象となる子の範囲の拡大、介護休暇の取得可能期間の分割、介護時間の新設が新たに加わる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案15号	議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正…議員の期末手当の支給月数を、特別職と同様に0.1カ月分引き上げ	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案16号	農協改革・指定生乳生産者団体制度維持に関する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決

注：廣田光男議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと



音楽のまち宣言で披露された石川啄木の歌（不来方高校音楽部）

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。

12月会議では10人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●藤原由巳議員……………P10

- ①本町の産業振興
- ②社会教育事業の更なる活性化対策

●村松信一議員……………P12

- ①平成29年度予算編成の基本的な考え

●小川文子議員……………P14

- ①子育て支援として保育料の軽減を
- ②岩手医科大学前の中央1号線の拡幅
- ③町民の声をどう聞くか

●水本淳一議員……………P16

- ①国指定史跡徳丹城の活用
- ②「音楽のまち やはば」の取り組み
- ③いじめ、不登校の状況

●齊藤正範議員……………P18

- ①小中一貫教育の考えは
- ②農業施策
- ③ごみ減量化対策

●昆秀一議員……………P11

- ①いじめ防止対策
- ②6次総の評価・検証と7次総の見直し
- ③共生社会の実現に向けて
- ④交通弱者等への対策
- ⑤喫煙に対するの取り組み

●廣田清実議員……………P13

- ①人口3万人への具体的な計画
- ②企業誘致
- ③予算減額に対するの説明

●川村農夫議員……………P15

- ①町長の財政運営方針
- ②地球温暖化の対策
- ③土地利用、農地活用と定住化促進の両立
- ④各分野の取り組みに、専門バカー代を
- ⑤教育委員会の「いじめ第三者委員会」の報告
- ⑥女性教育連絡協議会

●赤丸秀雄議員……………P17

- ①子育て世帯及び高齢者支援の充実
- ②今まで質問した事項のその後の状況

●川村よし子議員……………P19

- ①公契約条例の制定
- ②平和教育
- ③子どもの医療費助成制度の充実

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。
詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。

一般質問
町政を問う

本町の産業振興の考えは 新たな施策で活性化を図る



ふじわら よしみ
藤原 由巳 議員
(やまゆり会)



農業振興のためズッキーニの主産地化を目指した生産者・消費者の集い
(盛岡グランドホテル)

質問 近年大きく変貌してきた矢巾町における本年の農業・商工業の実態と今後の振興施策を問う。

町長 本年の産業実態は、米野菜、菌茸類が前年を若干下回ったが、果樹、畜産と商工業や観光部門での業績は堅調

に推移している。今後の振興策としては、産業振興課での農・商・工業の一体推進を図り、JAや商工会と連携を深め、各種事業の活用と新規就農、起業者の養成に取り組む。

友好都市 提携の考えは 調査を進める

質問 本町においては、県内では普代村、国外ではアメリカ・フリモント町とそれぞれ友好都市提携をしている。今後、農畜産物や商工業品等の本町事業展開のためにも香川県三木町のような国内類似自治体との友好都市提携を考えてはどうか。

町長 三木町は高松市の近隣にあり、香川大学の医学部と農学部のカンパスがある。町人口や学生数も本町とほぼ同数であり、学生への対応を工夫されているようなので、年度内を目的に調査を進める。

社会教育課の 体制見直しは 時代の流れを 見きわめ検討

質問 新運動公園誘致運動からスタートした2巡目国体も、本町出身選手の活躍により、盛会裏に閉会した。前回当町で実施したカヌー競技のレガシーは健在であったが、その継承対策はどうか。併せて、人口減少地区の自治公民館対応や郷土芸能保存、文化財保護等課題も多く、あまりにも多岐にわたる業務を持つ社会教育課の機構見直しをしてはどうか。

教育長 レガシーは、カヌーにプラスしてスポーツチャンバラ、ラジオ体操も含めて、次世代への継承に向け更なる進行を図っていく。また、機構見直しについては、業務内容を精査し、町長部局とも協議を重ねながら、時代の流れを見極めながら検討を進めていきたい。

※レガシー：遺産



議員 秀一 (一心会)
こん 昆

喫煙に対する取り組みは 悪影響について広く啓発

質問 喫煙の健康被害は深刻である。特に受動喫煙は問題であると考えるところから、以下について問う。

町長 官公庁においての喫煙の状況はどうなっているのか。

町長 不特定多数の利用者が訪れる施設では、喫煙所を設置している。喫煙所を設けていない施設は、喫煙者と喫煙しない人が接することのないようにしている。

質問 日本一健康な町を標榜する本町の喫煙に対する取り組みは。

町長 さまざまな場所で、受動喫煙などによる健康への悪影響について知る機会を設けて、広く啓発している。



健康への悪影響を及ぼす受動喫煙へますますの対策を(矢巾町役場 分煙室)

などについての理解を啓発している。

質問 子どもから高齢者まで、誰でもすべての人が利用しやすくするユニバーサル化の本町の現状は。

町長 互いに「一声」掛け合える地域づくりを進めるための福祉教育を実施している。周りの人の声が命綱となるようなまちづくりを推進する。

オンデマンド交通導入を 地域公共交通網 計画策定で検討

質問 交通弱者対策等についての考え方を問う。

町長 オンデマンド交通は、今後の有力な交通手段と考えられる。

オンデマンド交通も含めて地域公共交通網形成計画の策定の中で検討していく。

どうする心の バリアフリー

思いやりの心
育成事業で理解啓発

質問 共生社会の実現に向けて問う。

心のバリアフリーの取り組みをどうしているのか。

町長 町社会福祉協議会と連携した「思いやりの心育成事業」を実施している。

子どもから高齢者まで、あらゆる世代と障がいを持つ方々との交流事業で、障がい

大白沢に昭和の展示館を 不動地域の関係組織で検討



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)



大白沢地区に昭和の展示館を(花巻市 昭和の学校)

質問 認知症改善・予防に効果があるとされる「地域回想法」として昭和の日用品や生活用品・家電品など忘れ去られ、捨てられつつあるごく身近な品々の展示館を大白沢に開設してはどうか。

町長 現在、おでんせハウス

で昭和のポスターなどを展示している。和味・室岡・岩清水の不動中山間地域協定にて開設できるように検討し、大白沢の活性化に寄与させたい。

質問 大白沢地区に国の土づくり支援策を取り入れた各種野菜の栽培を導入し、野菜レストランを開設するなど観光化を図ってはどうか。

町長 先の認知症改善・予防の展示館と同様に協議したい。

運転免許証 返納対策は

関係機関と協議する

質問 高齢者運転による悲惨な交通事故が多発しており、免許証返納後の課題について取り組むべきと考えるが。

町長 高齢者の運転免許証返納後の課題について、鉄道路線・バス路線・さわやか号・タクシー・オンデマンド交通など全般について関係機関との協議の中で考えていきたい。

農業資材の 安価購入策は

農林省の

体質強化策を注視

質問 国の施策として農業資材・肥料・飼料、農薬等農業者の所得向上につながる安い生産資材が調達できる仕組みについて検討されている。当町の取り組みは。

町長 農林省の体質強化に向けた議論や検討内容を注視し適切に対応したい。

利子補給金融 機関の拡大を 実施に向けて検討

質問 個人住宅取得資金利子補給について町内の金融機関以外も対象を広げた人口増加策を考えるべきと思うが。

町長 現在は町内金融機関が対象であるが、重要な提案であり、実施に向けて検討し定住人口の増加を図りたい。

人口3万人への計画は 750世帯の増を見込む



ひろた きよみ
廣田 清実 議員
(町民の会)

質問 医大関連で交流人口は1万人を見込まれる中、第7次総合計画において、現在2万7000人の人口を3万人にする目標が掲げられているが、人口増加に対する具体的な取り組みは。また、定住人口促進するための土地利用は。

町長 人口3万人にするためには、3000人を増加しなければならぬ。

1世帯4人として750世帯を増やさなければならぬ。現在、町内の市街化区域で大きな面積を有している所は、徳田橋付近に約1・1畝、矢幅駅西に1・4畝であるが民有地であり、町の意向のみでは土地利用を図ることはできない。

そのことから人口増加、定住人口増加の手立てとはならない状況である。

質問 第7次総合計画「市街地活用の促進」の項目で、旧矢巾中学校跡地利用について検討とあるがその考えは。



矢幅駅西口付近にある民有地の有効利用が求められる

町長 旧矢巾中学校跡地は町所有の市街化区域の未利用地であり、定住人口増加のため対策の一つと考えられる。

かつこうグラウンドについては条例により社会教育財産となっており、条例を変更する必要がある。

質問 中村地区造成による、固定資産税と住民税の増加分はいくら位になるのか。

町長 固定資産税は1710万円ほど、住民税は770万円ほど増加している。現在行われている軽減等の期間を終えると増加すると見込まれる。

予算減額の 使い道は

優しい町の実現に

質問 前年度より、敬老会をはじめ、各種団体の予算が減額されているが、減額された予算の使い道は。また、説明する機会を持つのか。

町長 将来負担比率が示すとおり厳しい状況である。

個人的見解であるが、高齢者、子どもに対しての、インフルエンザ予防接種等の無料化に向けての財源確保としたところである。今後も、一層町民に優しい町の実現に邁進したい。説明については機会があることにしていきたい。

保育料第2子から無料化を 年間2800万円の財源が必要



おがわ ふみこ 議員
小川 文子 (日本共産党)

質問 町の出生率は1.3であり、県内下位のランクにある。その対策として、子育て環境の充実、経済支援として保育料の軽減ができないか。

町長 保育料の軽減率は35%、軽減額は1億400万円で県内の町村では最高額となっており、現在の水準を維持していく。

質問 現実的には第2子からの保育料を無料にすることに意味があるのではないか。またその場合の財源はいくら必要か。

町長 第2子が半額、第3子が無料である国の基準を継続する。無料の場合は年間2800万円財源が必要である。

質問 ひとり親家庭の保育料減免ができないか。

町長 国の制度改正により、ひとり親家庭では4月から第1子が半額、第2子以降は無料となっている。

質問 病児・病後児保育の早期実現のため小児科医確保を。

町長 町内の医療機関からは、病児保育に向けた回答は得られなかったため、近隣市町の医療機関との広域連携を実施できるように協議を重ねる。

医大前中央 1号線拡幅は 4車線を計画

質問 岩手医科大学前の町道中央1号線の拡幅工事の計画と総額予算はどのくらいか。

町長 現在、詳細設計中であるが、4車線を計画しており、平成29年度から工事着手の予定である。総予算は概算で14億円を見込む。



町主催で行われた地域懇談会(城内公民館)

一般質問 町政を問う

情報公開と 公聴を強めて 住民懇談会を開催

質問 住民合意の前提として情報公開や公聴が大事である

が、町民との定期的な懇談会の開催が必要ではないか。

町長 今年度から行政区長会議で開催希望に応じて行っているが、定期的な開催も各区长の意見を伺いながら進める。インフラ整備等の要望については、各課で対応する。



かわむら あきお 議員
川村 農夫 (一心会)

財政運営方針の考え方は 公債費のさらなる圧縮に努める

質問 本町の未償還元金は、132億円で町民1人当たり約48万円になる。

また、将来負担比率は186%と上昇している。

財政運営の長期見通しと、その基本的考え方を問う。

町長 岩手医大附属病院の開院までは交通体系整備に費用が必要である。

開院後は交流人口の増や雇用と消費の拡大により、税収確保が期待できるため、経常経費抑制に努めれば、大きな支障はない。

今後は、起債を抑制し、繰り上げ償還の実施を検討しながら、健全財政の運営に向けた公債費のさらなる圧縮に努める。

地球温暖化の 対策は

森林所有者などと 連携し整備

質問 交流人口増に伴う温室効果ガスの増加分に見合う二酸化炭素の吸収増加策として、森林整備への取り組みは。

町長 二酸化炭素の吸収量増による地球温暖化対策として、森林資源の活用が図られるよう、森林所有者・地域住民などと連携し、一体となって森林整備を進めていく。

土地利用の 打開策は

計画制度の 活用を検討

質問 国で平成18年頃に都市計画法の抜本改正の機運があり、都市計画の目的理念から見直すべきとの視点があつた。郊外や農山村部での生活環境と居住環境を悪化させない

ための地域自立型の活動支援が重要である。
高齢者世帯のみで住む住宅が集まっている農山村への買い物・医療・介護などの生活サービスを維持する必要がある。
これらのことの打開を目指す考えはあるのか。

町長 矢巾町市街化調整区域土地利用方針(仮称)を策定して、小規模な宅地開発などによる市街化調整区域の集落振興や、機能維持を目的とする計画制度の活用を検討していく。



森林整備が必要な町内の里山(大白沢地区)

史跡徳丹城跡の活用を 第二次史跡整備基本計画で検討



みずもと じゅんいち
水本 淳一 議員
(町民の会)



徳丹城史跡活性化の参考のために視察した矢瀬遺跡(群馬県みなかみ町)

一般質問 町政を問う

質問 史跡に当時の建物を復元できないか。

教育長 平成31年度を目途に、第二次史跡整備基本計画の実設計を基に検討する。

質問 産地直売所を設け地域の歴史、特産品等をPRする

町長 今後は歴史民俗資料館や佐々木家曲家などの周辺の土地利用も含め、PRの方法を検討する。

質問 地元の先人、歴史を周知させるべきと思うがどうか。

教育長 先人・歴史コーナーの設置も検討したい。学校では町教育委員会作成の副読本を活用し、遺跡を題材にするなどして理解を深めている。

音楽のまちの取り組みは

各学校の音楽活動を支援

質問 田園ホール、やはばーく等の音楽関係の利用状況は。

教育長 田園ホールは、昨年度、全利用の約45%、やはばーくは、今年9月末で約55%の実績となっている。

質問 学校、地域で今後どのように取り組むか。少年少女

合唱団を組織してはどうか。

教育長 皆さんの音楽活動を発信する場をつくるため、より良い音楽に触れられる機会を設け、各学校の音楽活動を支援する。少年少女合唱団の結成にも力を注いでいきたい。

いじめ

不登校の状況は生徒指導

個票を作成

質問 現在のいじめの状況と対策は。

教育長 現在対応中の事例は2件、不登校は14人であるが、いじめが原因によるものではない。

いじめ対策として生徒指導個票を作成し、教員間の情報共有による問題行動の早期発見と、小中学校間の継続した対応を心がけている。

全小中学校においていじめ防止基本方針の策定、教職員研修、保護者との連携強化などを行い、学校の特色を生かした活動も実施している。

子育て世帯への支援強化を 他自治体の取り組み等把握し検討



あかまる ひでお
赤丸 秀雄 議員
(一心会)

質問 町の将来の人口減少抑止並びに若い人達の定住化に向けて、子育て世帯への更なる支援施策に、結婚及び出産時に祝い金の支給を考えるべきと思うがどうか。

町長 本年から実施している個人住宅取得資金利子補給制度が好調に推移しており、子育て世代へはその他の各支援制度にも前向きに取り組んでいる。

今後の更なる支援策は若者の生活実態や他自治体の先駆的取り組みを把握し検討する。

質問 教育民生常任委員会で子育て世代へのアンケートを実施した結果によると、支援制度が周知されていないが。

町長 町広報で「子育て特集」



利子補給を利用した定住促進が望まれている(中村地区)

を掲載し周知徹底すると共に、ガイドブック作成等も検討したい。

質問 昨今、高齢者による交通事故が取り沙汰されている。町でも高齢者の運転免許証返納推進と代替交通の助成制度

町長 高年齢者の交通事故には心を痛めており、町でも対応が必要と思っている。

代替交通手段に地域公共交通網形成計画策定も含め、状況を注視しながら早急に検討する。

質問 敬老会参加者が年々減少している。町の礎を担った皆さまに弁当、飲み物の提供再開を行う考えはあるか。

町長 減少している要因を分析し、今後の開催について多くの方の意見を聞いて、楽しく参加頂ける敬老会に努める。

地域おこし協力隊の導入は来年度導入へ準備

質問 以前、前向きに検討すると答弁があった「ふるさと納税」の積極的取り組みと「地域おこし協力隊」の創設に取り組む姿勢を問う。

町長 ふるさと納税についてはホームページを先月リニューアルして、アピールに努めている。今後の動向を注視しながら、これからもご協力頂くよう努める。

地域おこし協力隊創設は、来年度導入に向け準備を進めており、他市町村の活動状況などを踏まえて、矢中に適した活動を考えていきたい。

小中一貫教育への見解は 学力向上が図れると考える



さいとう まさのり
齊藤 正範 議員
(矢巾明進会)



施設一体型小中一貫教育を実施している信濃小中学校(長野県)

質問 小中一貫教育は9年間を通じて教育課程を編成し、系統的な教育を実施することで、学力向上を図れると思うが考えは。

教育長 義務教育9年間で、つまづきやすい内容や、繰り返し学習する必要がある内容

を整理し、工夫されていることから、学力向上が図れるカリキュラムとなっていると考えている。

質問 小中一貫教育の課題として考えている点は何か。

教育長 小中学校の教員が目指す子ども像を共有し、系統的な教育を目指す教育として望ましいものである。

一方、当分例外とされているが、小中学校両方の教員免許保有が原則であるため、本町としては配置が困難である。

米の減反制度 変更対策は 混乱を招かないよう 適切に対応する

質問 2018年から米の生産調整の国からの配分が廃止されるが、米価安定につながる米の生産量などの施策を2017年産の作付け前に示すべきと考えるがどうか。

町長 生産調整は廃止されるものではなく、主食用米以外

の作物作付けにより主食用米の過剰生産が抑制される。そのことから、売り切れる量の生産戦略を県農業再生協議会から示される方針を踏まえ、生産者が混乱を招かないよう対応していく。

ごみ減量対策は 身近にできる方法で 減量化に努める

質問 生ごみの減量化に向け安価な木製コンポストの導入を考えてはどうか。

町長 木製コンポストは自然の力で生ごみを分解でき環境にも優しい減量対策であり、町の補助対象となる。

補助を利用する多くの方が市販の電気式やポリエチレン式の処理機を購入しているが、今後は容器補助に限らず、その手段・方法について周知し一層ごみの減量化に努める。

質問 ごみの減量化の手段として有料化の考えはあるか。

町長 減量化策を徹底し、有料化は考えていない。

公契約条例の制定を 慎重に進めていきたい



かわむら
川村 よし子 議員
(日本共産党)

質問 自治体の事業を受託した企業の労働者に対し、地方自治体が指定した賃金が支払われるよう規定する公契約条例を制定し町内企業の賃金・労働条件等を把握することが必要ではないか。

町長 契約の内容や入札方法も検討する必要があることから慎重に進めていきたい。

質問 岩手県では条例が制定されているが、町でも制定する考えはないか。

町長 県が条例に基づく今後の取り組みの説明を開催することから、その内容と適正な労働条件等の確保と地域経済の振興等を把握したうえで、条例制定を検討する。



毎日の歯みがきで虫歯予防を(不動小学校)

どうしている 平和教育

尊さを学んでいる

質問 小中学校では平和教育をどう行っているか。

教育長 小学校では平和や命の尊さや、大切さについての考えを深めている。

質問 修学旅行の中で戦争や平和憲法関連について、どう研修しているか。

教育長 見聞を広め自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活のあり方や公衆道徳などについての体験学習が中心で、平和教育研修はほとんどない。

子ども医療費 助成の充実を

中学生までの 拡大を検討

質問 歯科検診の結果が要観察・要治療である乳幼児・児童生徒にはどのような指導をしているのか。

町長 乳幼児は、やはばデンタル会の協力もあり100%の治療率である。

歯科検診後は養護教諭の保健指導などを通して、受診につながるよう支援している。

質問 子ども医療費を中学校・高校まで拡充できないか。

町長 4月からの中学校卒業までの拡充を検討するが、高校卒業までは現状では難しい。

日程 11月20日から22日(3日間)
 視察先 福井県大飯郡高浜町、
 大阪府泉南郡岬町



**総務
常任委員会**

薬草ビジネスの創出

福井県大飯郡高浜町



薬草の栽培方法を視察中

研修目的

青葉山ハーバルビレッジにおける薬草ビジネスの開発や観光山野草園の整備等への取り組みを学ぶ。

調査報告

福井県の最西端に位置する高浜町青葉山は、昔から薬草を含む有用植物が多数自生し、町が中心となり、生薬協会や研究所、大学と協定を結び、栽培指導や保全などの事業を共同実施している。
 近隣住民の交流や体験、教え合い、シニアの力が活かされた場になっており、薬草ハ

ーブ、地元食材使用の新メニューの提供、近隣施設や飲食店等を巻き込んだイベントやツアーを提供している。
 町の担当者が熱心に働きかけ、協力農家とともに栽培を行っている。
 本町においても、貴重な薬草が南昌山に自生していることも知られているほか、矢巾町在来種の手とムギもある。ひまわり畑等の町有地の利用法も併せて、町の宝を活用した総合的な健康事業、6次産業化事業等の創出の可能性を検討していきたい。

町営住宅に民間活力

大阪府泉南郡岬町



町の公営住宅にも民間活力を

研修目的

民間活力による公営住宅整備事業の取り組みを学ぶ。

調査報告

大阪府岬町の町営緑ヶ丘住宅は、町営住宅の老朽化等の要因から、建替えの関連業務を民間活力により実施した。
 事業を進めるにあたり生じる課題として、建て替えに係る家賃の引き上げがあったが、

5年間で順次引き上げていくという交渉や、減免措置の実施等を説明し、住民の理解を得ていた。
 矢巾町においても、戸建て町営住宅の老朽化、耐震、防災対策等を考慮して建て替えを検討し、それに伴う用地、建設費用、高層階による余剰地の使用等の課題について、学ぶことができた。

議会からのお知らせ

産業建設
常任委員会



日程 10月31日から11月2日(3日間)
視察先 千葉県南房総市、
岡山県英田郡西栗倉村

土地利用政策として道の駅を

千葉県南房総市

研修目的

矢巾スマートICが設置されることに伴い、町の土地利用政策として、高速道及び一般道の双方から利用できる道の駅の設置の可能性についての調査研究。

調査報告

千葉県南房総市の道の駅「富楽里とみやま」は、温暖な気候で年間を通じ農産物の



高速道・一般道双方乗り入れできる道の駅

販売が可能なことと、海も近く海産物が豊富で、かつ東京圏への通勤圏として好立地があり、観光客も多い。

本町の「道の駅」構想についても、矢巾スマートIC、徳丹城付近、それぞれの要望や形態・運用について検討する時期である。

低炭素・循環型社会の構築を目指す

岡山県英田郡西栗倉村

研修目的

「環境モデル都市」に選定された西栗倉村が取り組んでいる「百年の森林(もり)事業」や小水力、バイオマス、太陽光発電など再生可能エネルギー導入を通じ、低炭素社会・循環型社会の構築について、視察研修を行う。

調査報告

西栗倉村は、人口1505人、面積57・97平方キロメー

トルで森林面積が95%を占め、そのうち85%は人口林である。村では林業を基幹産業に位置付けている。村民一丸で未来への思いを共有し、世代を超えた「百年の森林事業」による低炭素社会の地域づくりに励んでいる。

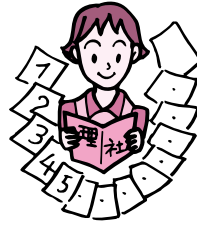
本町でも、年度毎の再生可能エネルギーの目標設定を行い低炭素社会に取り組むことが必要である。



小水力発電は本町でも十分に可能である

議会からのお知らせ

日程 11月10日から11日(2日間)
 視察先 群馬県藤岡市、群馬県利根郡みなかみ町、
 長野県上水内郡信濃町



**教育民生
常任委員会**

小中一貫教育で学力向上

群馬県藤岡市、長野県上水内郡信濃町



施設の統合・教員の連携など様々な方法がある小中一貫教育

研修目的

全国211の自治体で既に実施されている小中一貫教育の先進地の実態を学び、矢巾町において研究機会や課題をどう捉えるかを学ぶため、2自治体を視察した。

調査報告

藤岡市は市内の中学校5校の学区を基本とし、小学校11校を中学校学区に対応させた形で連携型小中一貫教育に取り組んでいる。

また、信濃小中学校では町内5校の小学校と1校の中学校を統合した施設一体型の小中一貫教育に取り組んでいる。

藤岡市は、学力向上を見据えた9年間のカリキュラムを実施しており、小学校5、6年生での教科担任制の導入や、中学校兼務教員による専門的な授業を行っている。

信濃小中学校では高学年の子どもが低学年の子どもとふれあう環境が互いをいたわり合う心につながり、いじめなどの問題が起こりにくくなっている。

両校とも教科担任制や体育・音楽などの専門性の高い教科など小中教員の交流授業の実施で、児童生徒からも分かりやすいと評価されている。

両校とも教科担任制や体育・音楽などの専門性の高い教科など小中教員の交流授業の実施で、児童生徒からも分かりやすいと評価されている。

遺跡に隣接した道の駅

議会からのお知らせ

研修目的

史跡「矢瀬遺跡」に隣接した道の駅「月夜野はーべすと」の概要と相乗効果を学ぶ。

調査報告

直売所はコンパクトなつくりだが、年間7万人を超える来客と約7000万円の売り上げがある。

史跡・公園の管理は役場で行っており、年間750万円

群馬県利根郡みなかみ町

の経費を要している。

史跡の復元は全て盛り土の上に行っており、相当の費用がかかることも教示された。

公園内でのイベントの開催回数が多く、誘客に効果を上げている。産直の経営は観光客だけへの販売では経営が成り立たず、地元の人にもいかに利用していただくかが重要な要件となっている。



徳丹城史跡整備の参考としたい史跡と連携している道の駅(月夜野はーべすと)

聞くとも見るとは大違い

遠藤 信義さん(南矢幅2区)

私が議会を傍聴したいと思っただけは「議会だより」でした。それに書かれていた内容を見て、議会はほとんど議員と町長のやり取りしか記されていませんでした。

私の中では課長もいるはずなのに。傍聴して思ったことですが紙面に制限もあり、質問の大まかな点を載せている事だなど。ですから

「聞くとも見るとは大違い」で議員もそれなりに突っ込んだ質問をし、それに対しての答弁が専門的知識のある課長が答えるということ。私の疑問は解決しました。

もう少し身近な問題についての質問があれば傍聴者の数も増え、質問議員や答弁者が少し緊張するような議会になると思いました。

私も



とことと!



議会を傍聴する筆者

いじめ調査

第三者委員会からの調査報告

一昨年7月に起きた本町中学生が自ら命を絶った事案において調査を行っていた第三者委員会より、町教育委員会が報告を受け、12月26日の全員協議会で報告がありました。

一、委員会が認定した事実

① いじめの認定

1年次の部活において、体力及び技術面から皆と同等の練習をこなすことが難しくかつたにもかかわらず、練習中に強い言葉や失敗を責められるかの言動を受けていた。

また、2年次のクラス内において、同級生から、顔を殴られ、頭の押し付け、わき腹の突かれなどの暴力、ちょっかい、からかいの対象とされ、心理的、物理的な攻撃を受けていた。

これらの行為が学校内の部活動・クラス内の人間関係の中で発生したことから、いじめに該当すると認定した。

② いじめと自殺との関係

いじめが継続していく中で、平成27年6月ころには死にたいと思う考えが出現、表明するほどになっていた。少なくともいじめが一つの原因に

なっていたと認定する。

しかし、自ら死を選ぶ理由を示す遺書がない。事件発生前3日間の行動・状況に関する情報が少なく、経緯は不明で自殺の主要な原因を特定することは困難である。

③ 当該中学校の対応

関わった教員は、トラブルに関して全く対応していなかった訳ではなく、その都度個別的に対応してきた。

しかし、教員全体での情報共有は十分でなく、学校全体で対策を講じることにについては、極めて不十分であった。

ノートに死という記載があったにもかかわらず、保護者に情報提供をしなかったことは、当該校の不適切な対応であった。

二、委員会の提言

① 思春期の子どもは精神的に不安定であるという現実に対して、子ども自身も含め、子

どもに関わる関係者全員が感度を高めること。

② 子どもは発達途上であり、大人の助けを必要としているため、関わる大人たちが相互に協力するという体制づくりが極めて重要である。

質問 報告書は全部見ることができるのか。

回答 個人情報部分以外は情報公開条例に基づいてお渡しすることができる。

質問 今後のいじめ防止条例制定についての考えは。

回答 全戸に報告書の概要版を回覧する。条例に関しては、町民の皆さんの意見をお聞きしてから制定していく。

お詫びと訂正
前号の「私もひとこと」筆者の阿部勝永さんの紹介に誤りがありました。
誤 行政区「矢中1区」
正 行政区「南矢幅1区」
謹んでお詫びし、訂正いたします。

議会からのお知らせ



第71回国民体育大会(希望郷いわて国体)
カヌー競技 カヌースプリント
少年女子カヤックシングル200m
// 500m



不来方高校カヌー部(筆者2列目左端)

ちゅう まえ
第1位 中前 いつき さん (南矢幅2区)

応援してくれた母に感謝

私が希望郷いわて国体で優勝できたのは私だけの力では不可能だった。監督や、忙しい中、私たちのために臨時コーチをして下さった卒業生の方々の指導のおかげで、2年という短い時間で全国に通用する技術を得ることができた。

いい先輩、いい後輩、いい同級生を持ったことで切磋琢磨し、内容の濃い練習を行うことができた。昨年、先輩に見せて頂いた景色、体験させて頂いた経験が力になった。何より多くの方による応援があったからこそ、国体本番の決勝レース後半で追い抜くことができたのだと考える。国体で優勝できたことにより、多くのメディアに取り上げて頂ける機会が増えた。「カヌーとの出会いのきっかけ」を尋ねられた時、「兄の勧め」「カヌー部のアットホームな雰囲気」に惹かれた」と答えているが、私にはカヌーと運命

的な出会いもなければ自慢できるようなきっかけもない。実際にはカヌー部のアットホームな雰囲気というより、素敵な先輩方に見惚れたことが最大の動機なので、尋ねられた際は自分でも苦笑してしまふ。

そんな私が3年間カヌーにのめり込むことができたのは素晴らしいチームメイトがいたからだ。心の底から感謝したい。チームメイトとは学年を超え練習中は励ましあい、練習外は姉妹のようにじゃれあい、語り合った。そんな環境で競技ができた私は幸せ者である。他県の選手から言われた「不来方高校の練習は絶対に楽しいだろう」という言葉は、私の恵まれた環境を示す最高の一言だ。最後に、一番そばで応援し支えてくれた母に感謝を伝えたい。

あ と が き

昨年の議会だより編集委員会では、8自治体の研修視察の受け入れを行った。読みやすく、分かりやすい議会広報づくりの熱意は、いづれも同じであり、我々も教わる点が多くあった。本年も今までの経験を糧とし、一層親しまれる議会だよりの編集に努めてまいります。

齊藤 正範

表紙によせて

11月6日に田園ホールで、音楽のまちやはば宣言がありました。日頃から音楽に親しむ町内の小中高生の歌声は、宣言の通りこころ豊かなまちの未来を感じさせました。



発行・編集責任者

編集委員

議長	廣田 光男
委員長	昆 秀一
副委員長	齊藤 正範
委員	廣田 清実
	高橋 安子
	村松 信一